

米国血管外科学会総会Vascular Annual Meeting2019出席報告

Report from Vascular Annual Meeting 2019 in National Harbor Maryland

兵庫医科大学心臓血管外科

日本血管外科学会評議員・国際委員

米国血管外科学会員

山村光弘

Q1 なぜ Society for Vascular Surgery なの？

A1 1947年設立当時は米国しか血管外科学会はなかったため、"American" Society for Vascular Surgery と命名する必要がなかったからです。今年度は6月12日から15日まで首都 Washington DC 郊外の Maryland 州 National Harbor にある Gaylord National Resort and Convention Center で開催されました（プログラム表紙を下記に示す）。また2004年からは総会は、これまで本学会参加報告記したように、Vascular Annual Meeting（以下 VAM）と表記されます。

カナダ血管外科学会 Canadian Society for Vascular Surgery は、米国東部 New England Society for Vascular Surgery 等と同様に SVS 構成する地方会ですが、来年度米国血管外科学会総会（2020 VAM）はカナダ・トロント開催されます。だから正確には SVS は"北米"血管外科学会と訳したほうがいいかもしれません。

Q2 SVS の日本人参加はどれくらいなの？

A2 事前参加費は SVS 会員 756 ドル・非会員会費 978 ドルとさらに値上げされかなり高額でしたが、11名の日本人事前参加者がいました。また2014年米国血管外科学会日本支部 Japan Chapter of SVS ができましたので、今年6月の日本血管外科学会総会（名古屋）に Michel S Makaron SVS 会長が来日され、引き続き SVS Japan Chapter Symposium が同時開催されました。2017年米国血管外科学会中国大陸支部 China Chapter of SVS もできましたが、ずっと以前より米国血管外科学会台湾支部 Taiwan Chapter of SVS も並立しており、さらに中国大陸と香港・台湾では学会参加費が異なっており、米国の中国に対する政治的立場はかなり複雑です。

米国血管外科学会は、国際政治的に世界をリードする米国血管外科学会の立場と国内の血管外科医のための米国血管外科学会の立場をとっています。米国血管外科学会国際関連委員長 Enrico Ascher 教授のもと学会初日に海外からの発表が集約されており、International Chapter Forum（海外支部からのみ10題）・International Forum（海外口演16題）・International Fast Talk（35歳以下限定海外口演17題）・International Poster と、さらに今年から35歳以下海外限定 International Young Surgeon Competition（10題）が組み込まれるようになりました。

学会初日は関西胸部外科学会評議員会と重複したため拝聴できませんでしたが、International Chapter Forumには旭川医大 東教授が、International Forumには東京女子医大 横井先生と赤穂中央病院 北川先生が、International Fast

Talkには札幌手稲溪仁会病院栗本先生が、International Posterには山口県立総合医療センター 竹内先生が、新設のInternational Young Surgeon Competitionには千葉メデイカルセンター 松下先生と大阪大学 三宅先生が発表され、53題中7題と頼もしい限りでした。

学会2日目以降Scientific Session等口演や学会3日目Poster Competition(120題)では日本からの発表はありませんでしたが、学会2日目CompetitionのないInteractive Poster(280題)では東京都済生会中央病院藤村先生と東京都健康長寿医療センター 赤木先生が発表されました。

2日目以降のScientific Session等口演やInteractive Poster・Poster Competitionは米国内から応募が基本なので、日本からの発表はやはり学会初日が狙い目でしょう。また学会初日の部門はSVS会員同意なくともSVS国際関連委員承認で応募できます。詳しくは本学会ホームページ米国血管外科学会2015・2017・2018参加報告

<http://www.jsvs.org/ja/event/svsvascularannualmeeting/>および三宅先生参加報告(日本心臓血管外科学会誌48巻3号215-216, 2019)を参考にしてください。

Q3 山村は何をしに行ったの？

A3 残念ながら今年度は米国血管外科学会国際関連委員に再選されませんが、学会2日目早朝のCritical Issue for Authors and Reviewers A Joint Sessions of JVS/EJVES/JAMA Surgeryに参加しました。ご存知のようには2015年会長のPeter F Lawrence教授と2013年会長Peter Gloviczki教授が米国血管外科学会機関紙Journal of Vascular Surgery(以下JVS)のEditor-in-Chiefをしており、今回じきじきに参加のお手紙をもらっていたからです。今回報告では、昨年もJVS論文採用率は59%と厳しく、さらに基礎実験ではわずか28%だそうです(山村が毎年のようにrejectされた理由がわかりました...)。近年JVS姉妹紙としてJVS-Venous Lymphatic DisorderとJVS-Case and Innovative Techniquesが刊行されておりますが、JVS-Vascular Scienceを追加刊行予定で少し門戸は広がるようです。

利益相反 なし

連絡先

〒658-0082 西宮市武庫川町1番1号 兵庫医科大学心臓血管外科

電話 0798-45-6851

FAX 0798-45-6853

2019

VASCULAR
ANNUAL MEETING®

NATIONAL HARBOR, MD
OUTSIDE WASHINGTON, DC

SCIENTIFIC PROGRAM

JUNE 12-15, 2019

SCIENTIFIC SESSIONS: **June 13-15**

EXHIBITS: **June 13-14**

at the

**GAYLORD NATIONAL RESORT &
CONVENTION CENTER**

VSweb.org/VAM19

All events take place at the Gaylord National Resort & Convention Center, unless noted otherwise.


Download the
"SVS Events" mobile
app from the Apple
App Store or
Google Play Store

SVS | Society for
Vascular Surgery